



# NEXT21/U-CoRo 減災プロジェクトにも関連して! からほり倶楽部主催の ロジモク減災見学会で京都探訪

第3回ロジモク減災現地見学会

花折断層や西山断層など、多くの断層に囲まれている京都盆地。1596年に秀吉の伏見城を直撃した慶長伏見地震をはじめ、1830年の京都市大地震など度々の被害を受けています。町家など木造建築が多くあり、路地や狭い道路が残る京都のまちで、どのような取り組みが実施されているのか。U-CoRoのあるNEXT21とも関わりの深い京都大学の高田光雄氏にご案内いただきました。



高田光雄氏(左)

## 京都・減災上ル下ル ～古都・京都の町家群での減災は如何に

ナビゲーター：高田光雄氏(京都大学大学院工学研究科教授)  
日時：12月12日(土) 10:30～16:30  
主催：からほり倶楽部  
共催：ロジモク研究会、CEL/U-CoRoプロジェクト・ワーキング、  
大阪大学コミュニケーションデザイン・センター



上京区社会福祉協議会会長の高瀬博章氏に、春日学区における住民たちの助け合いネットワークづくりについてお話をうかがった



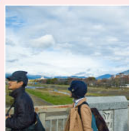
子ども、高齢者、障がいのある人でも、安心、安全に暮らせるまちをつくりたい。

地域の防災力を強めるため、住民の視点からの福祉・防災マップを作成



各戸の軒先には防火用水

### 春日学区 元春日小学校



地域生活空間研究所の上林研二氏に、景観の保全とともに地域の防災力向上に努めてきた祇園町南側地区での活動を解説いただいた

### 丸太町橋



### 四条大橋



消火栓も歴史的まち並みとマッチするよう配慮して設置

### 祇園町南側地区

### 五条大橋

### 京都市景観 まちづくりセンター



この地区では、03年に防火・準防火地域の指定が解除され、「伝統的景観保全地区」にも指定、木造真壁造による新築も可能になった



まちの景観保全と防災の高立を目指したまちづくりを推進。



町家の特質をいかした耐震補強などが求められている

災害に強いまちをどう実現するか。京都には、消防車が入れない細い道や袋路など、課題は多い。



京都市景観・まちづくりセンターの高木勝英氏に、京都の町家保存の現状や防災への取り組みなどをうかがった



START